

どうなの評価？どうする評価？私たちの大事なものって何だっけ？

主催：一般社団法人日本社会連帯機構／劇団銅鑼

劇団銅鑼では創立50周年記念公演として、『アウトカム～僕らがつかみ取ったもの～』を上演いたします。「アウトカム」とは「成果」を意味する言葉です。毎日のお仕事や生活で誰もが知らず知らずに行っているのが評価。どうなの評価?! どうする評価?! お芝居をより一層楽しむためにも、演劇『アウトカム』の劇作家、出演者、そして物語にも登場する職業評価士と共に、日曜日の午後楽しく語り合いませんか?! あなたの日常生活がちょっとだけ自由に楽しくなるかも!!

日時：2023年2月26日(日)13:30～15:30

会場：池袋ISPタマビル ワーカーズコープ 8階会議室

参加費：無料（会場定員50名）申し込み締め切り2/23

zoomでのオンライン配信あり

（zoom参加はドリンクなど飲みながらお気軽に）

※後日、URLをメールアドレス宛にお送りします。

【お申込み：下記QRコード、又は劇団銅鑼まで】

■QRコードからグーグルフォームでお申込み下さい。



■劇団銅鑼（平日10時～18時）

◎電話 03-3937-1101 ◎FAX 03-3937-1103 ◎メール info@gekidandora.com

①お名前 ②参加方法(会場・オンライン) 連絡先(携帯電話・メールアドレス)をお知らせください。



【登壇者プロフィール】



大澤 望

（株式会社大沢会計&人事コンサルタンツ 取締役／一般社団法人インパクト・マネジメント・ラボ 共同代表／特定非営利活動法人日本評価学会 理事）

岩手県盛岡市出身。社会的価値の創出を目的とする様々な分野の事業の調査・評価に携わるほか、「社会的インパクト・マネジメント・ガイドライン（発行元：SIMI）」の開発や、休眠預金等活用制度の評価の設計・運用などにも携わっている。日本評価学会認定評価士。



馬淵 真希

（劇団銅鑼俳優）

1993年入団。

今作品では、銭湯プロジェクト参加者のひとり・小林役として出演。



黒田 志保

（劇団銅鑼俳優・ワーカーズコープ組合員）

ワーカーズコープが受託した厚労省事業『若者自立塾』で、銅鑼の仲間と共に演劇を使ったコミュニケーショントレーニングの講師として参加したご縁から、ワーカーズコープの「若者サポート

ステーション」事業の仕事に入団。その後、若者や中高年の社会参加就労支援等で、演劇コミュニケーションの講師を務める。2015年～現在、若者自立塾の卒業生等と共に、廃食油を精製したバイオディーゼル燃料(BDF)を製造販売する事業所『あぐりーん東京』の所長を務める。

小関 直人（劇団銅鑼 劇作家・演劇制作者）
『アウトカム～僕らがつかみ取ったもの』作者

酒見 友樹

（日本社会連帯機構 事務局）